

生演奏と歌声響く 小さなオペラ

2年生 オペレッタ ★



オオカミと7匹の子ヤギ

演奏&ダンス



1年生



『あつごう間の一年間・・・感動のフィナーレ!!』
今回、実行委員長としてクリスマスコンサート準備を進めてきました。1、2年生の実行委員でホスターや案内状、装飾など、本番直前までやるのが沢山ありましたが、皆に助けてもらいながらなんとか本番を迎えることができました。オペレッタは昨年の1月から配役のオーディションを行い、1年かけて作り上げてきました。実習の合間も少しずつ準備し、小道具・大道具・衣装・演奏・歌・演技の稽古...皆、本当に大変でしたが、舞台を終えて達成感でいっぱいでした。時には先生と意見がぶつかることもありましたが、先生の熱意があったからこそできた舞台だと思っております。今回はオオカミ役として舞台上立ち、子どもたちの反応も間近に感じることができ、貴重な経験になりました。一緒に頑張った2年生、ついてきてくれた1年生、そしてご指導・サポートしていただいた先生方、本当にありがとうございました！
【実行委員長 2年 小野 健吾】

2年間の集大成 クリスマスコンサート

吉福新聞

読めばわかる私たちの学び舎

ボランティア経験は きっと！将来の宝になる

本校には沢山のボランティア募集依頼があり、学生たちは在学中に様々なボランティア活動に取り組んでいます。その中で、札幌市豊平区で在宅生活をされている坂内 洋士様へのボランティア活動に密着してきました！

坂内様は脳性小児麻痺により両手足が不自由で一人では出来ないことが多いため、24時間常時、見守りや介助が必要です。公的なホームヘルパーは、1日24時間×30日＝月720時間が最高時間数であり、31日ある月は24時間1人の時間ができてしまいます。そこで、坂内様の一人暮らし・地域での自立生活を支えてくれるボランティアを募集したいと、本校へ足を運び直接学生たちへ募集の呼びかけをしてくださいました。



①



②



③

坂内様と一緒に♪
(左から)
高橋 和也さん
扇谷 祈一さん
遠藤 葵さん

坂内 洋士様より
『ボランティアに来てくれると本当に助かります！学生にとってもボランティアでしか経験できないことがあるので、勉強になると思います。ぜひ多くの方が来てくれたら嬉しいな～』

冬のポトフで 免疫スイッチ ON! 温



冬野菜&リコペンを多く含むトマトで免疫力アップ!

●材料2人分

- じゃがいも...2個 人参...1/2本 キャベツ...1/4個 玉葱...1個
- ベーコン...100g トマト...2個 ブロccoli...1/4株
- ☆トマトケチャップ...小さじ1 ☆白ワイン...大さじ2 ☆昆布...5cm角
- ☆ガラスープの素(粉末)...小さじ1 ☆コンソメ(粉末)...小さじ1
- 塩...小さじ1/2 こしょう...少々 パセリ...少々

●作り方

- ①キャベツは芯の部分をつけたまぐし形切りにする。じゃがいもは皮をむいて、大きければ半分にする。人参は4~5cm角、玉葱は4等分に切る。
- ②①の材料と水500ml、☆の材料を合わせて鍋に入れ、20~25分程煮込む。
- ③②に湯むきしたトマトと、下ゆでしたブロッコリー、ベーコンを加えて更に5分程煮たら、最後に塩こしょうをして仕上げる。
- ④器によそい、パセリを散らして出来上がり♪

監修：加藤 聖子先生
介護福祉学科・社会福祉学科の授業『生活支援技術Ⅰ』を担当。授業では、調理の基礎だけでなく、加齢や障害に応じて工夫した調理方法などを指導してくれています。



*だしに鶏ガラや昆布を入れるとあっさり、隠し味にトマトケチャップを少量入れると旨味が増します！
*我が家では多めに作り、次の日はカレー粉を入れてカレー風味にしたり、残った具材をミキサーにかけ、牛乳や豆乳を加えてポタージュ風にアレンジします。どうぞお試しください♪



吉田学園 スポーツフェスティバル

IN つとーむ



『リレーで大活躍!!』
クラスTシャツを着て、チーム対抗リレーに出場しました。自分では分かりませんが、クラスメイトから「速かった!!」「すごい!!」などと言われ、とても嬉しかったです。小さい頃、外で遊ぶことが多かったため、それが生かされたのかなと思います！楽しかったことは、アリーナに下りてチームの競技を観戦したことです！クラスメイトと一緒に大声を出して応援したことが、一番思い出に残っています！
【介護福祉学科2年 池森航】



障害物競争



綱引き



長縄跳び



先生も!

『全種目制覇!!』
スポーツフェスティバルには、クラスの人数がギリギリだったこともあり、全種目に出場しなければならなかったのが大変でした。しかし、普段運動をしているみんなの姿を見ないので、走っている姿が個性的な人もいて楽しかったです。介護福祉学科2年生と社会福祉学科3年生の連合チームも協力し合い、他学科・他学年との交流もできたことが思い出に残っています。
最後の男子リレーでは、2位でアンカーにバトンタッチしたのですが、最後の直線で転んでしまい順位が変わってしまいました。しかし、心に残るシーンになりました。
【社会福祉学科2年 平野 愛奈】

学科トピックス

保護者からも信頼される保育士を目指して



保育園の「子育て支援活動」では、園児の保護者や地域に住む子育て中の方々に、育児相談や子どもとの関わり方など、さまざまな取り組みが行われます。そこでテーマを「運動あそびを通じた親子のふれあい」とし、企画・進行を2年生が務め、1年生が保護者役に、姉妹園であるくりの木保育園の年長さんが子ども役になり、親子に見立てた運動あそびを行いました。設定は「海賊の冒険!」です。子どもたちは初め緊張した様子でしたが、海賊手遊びや体操・サーキット・リレー・ダンスなど、遊びを通してすっかり笑顔になりました。1年生も「宝もの取り返せて良かったね!」「上手にできてたね!」と積極的に声をかけるなど、関わっている姿が見られました。2年生は、子どもだけではなく、大人と一緒にいることで、苦労したかと思えます。後期も残りわずか…さらに学びを深めて子どもや保護者からも信頼される保育士を目指して欲しいと思います。今後の活躍に期待しています! 【担当教員 上山 七夕子】

◎学生の感想 いかにも温かい雰囲気の中で保護者と子どもが安心してながら楽しめるのかを良く考え、実践していくことや、保護者にも声かけを行いながら進めていくことの難しさを感じました。今後は親子同士の関わり合いに保育者はどう接していくかをよく考えていきたいと感じました。 【2年 亀谷 愛梨】

保育未来

社会福祉

三福祉士取得のための、初めての實習!!

26日間の實習を通して学んだことは、教科書に記されている介護方法はあくまでも基礎であり、実際には麻痺や不自由さ、その日の体調を知らなければ安全に介助できず、利用者様に安心していただけないということでした。利用者様に対してどのように接していけばいいか迷い、情報を知っただけで満足し、職員さんや先生から「なぜ」と聞かれても答えられませんでした。これらのことから、日頃から「なぜ」と疑問を持つ姿勢、介護技術を学ぶ前にまず意義と目的を理解することが大切だと教えていただきました。 【1年 古家 奈苗】

介護實習が初めてということもあり、最初は緊張と不安でいっぱいでした。初週の利用者の方とのコミュニケーションでは、緊張してしまい自分から話しかけることができず会話が止まるなどもありましたが、徐々に打ち解けることができ、最後の方には話しかけることも話しかけてもらうこともできるようになりました。様々な介助をさせていただきましたが、一番苦手だったのは移乗介助で、実際に行うのは初めてで中々コツをつかむことができず、職員の方が工夫や支える場所や力の入れ方等を細かく教えてくださり、最後の方にはできるようになりました。今回は、利用者の方も職員の方もともにとても優しく、丁寧に色々な事を教えていただきました。自分にとって、とても実になる實習だったと思います。次の實習にも今回の實習を生かして頑張りたいです。 【1年 余湖 紗香】

精神保健福祉援助實習を終えて『学んだ』こと

實習前は、自分が学校で学んだ知識をどれだけ実践で生かせるかが不安でしたが、同時に現場を見られるという期待が大きくワクワクしていました。現場にいる先輩ワーカーのいいところをすべて盗もうと意気込んで實習に臨みました。実際に實習が始まり、思っていたより明るい雰囲気の実習先で、待合室にも大人数待っていたりと緊張の度合いが高まりました。しかし、もともと抱いていたイメージから変化しました。学校では精神保健福祉士はなんでもこなすということも聞いていましたが、やはりできないことも見え、限界があることも痛感しました。また患者さんの病状などの変化も見え、時折つらそうな顔をしていることもあったので、見ているのがつらい時もありました。疲れの影響からか、生活リズムが変化してしまっていたため大変でした。大変だったことの反面、あこがれるような精神保健福祉士の方に出会い、また利用者で普段は実習生に手紙を渡さない方から手紙をいただけたり、實習の最終日には泣いて悲しんでくれたりと、人と人としての関わりができて良かったです。今後精神保健福祉援助實習に行く人は、目的や目標をしっかり持っていれば大丈夫。貴重な経験が出来、視野や知識が広がります。社会福祉と精神保健は共通している部分もあり、最初から否定的にならずやってみてほしいです。最後になりましたが、環境にも実習指導者にも恵まれて本当にありがたいと思いました。感謝しています! 【1年 勝見 桃佳】

精神保健

介護福祉

『Safe Goods』

特別活動の一環として、福祉サポートショップはあ〜とふるの森に行ってきました。ホームマック西岡店の2階にあり、とても広く様々な福祉用具が売られていました。最初の1時間程度は福祉用具専門相談員の方に講義をしてもらい、内容はとても興味深く、ためになりました。その中でSGマークという言葉がありました。協会が定めた基準をクリアした安全な商品に付けることができるマークなのですが、商品によって基準が違い、対象としている人も違います。それによると、T字杖と言われる一般的な杖は自立歩行が可能な方に向けた福祉用具なのだそうです。自立歩行が難しい方に向けた用具だと私は思っていたのですが、それに該当するのは歩行器であり、歩行に不安のある方が杖を使うそうです。福祉用具等はその用途に合った使い方をするようにできているので、利用者が安全に使えるように、勉強しておく必要があると感じました。講義後、福祉用具を見せていただきましたが、改めて商品の多さに驚きました。その中で私は移乗用リフトを体験しました。実際にベッドへ移乗したのですが、上からゆっくり下ろすことで自然な姿勢で座ることができるのではないかと感じました。リフトで吊るされている時、少し揺れて怖かったので、揺れないよう配慮する必要があると感じました。介護を行う上で福祉用具はよく使うものなので、今後は、その利用者に合った用具を使っているか、使い方は合っているかなどを自分が教えられるようになると思います。 【1年 安達 圭吾】



大山塾

本校校長の大山節夫先生は、昭和54年4月に高校教員となり、学校や教育行政で勤務し、平成19年には登別明日中等教育学校の校長、平成21年には教育局長などを歴任されました。そして、平成28年3月に札幌東高校校長を退職し、同年4月から本校で勤務しています。そんな校長先生の専門科目が国語であったことから、今年度より次の通り、大山塾を開催しています。

目的	目標
文章を書くのが苦手、誤字・脱字が多い、実習日誌が苦手など、国語力に課題を感じている学生に対し、放課後楽しく課題克服に取り組む。	①400～600字の作文が基本に則り記載できるようになる。 ②実習記録や履歴書の志望動機などを、相手に伝わるよう5W1Hの基本に則り文章が記載できるようになる。

《参加学生の声》

・年々漢字を書くことが減り、基本的な漢字も忘れかけていましたが、大山塾に参加することで、過去に学んだ基礎的な知識も思い出することができました。授業内容も大山校長先生のお陰で楽しいです! 【社会福祉学科3年 田山 稔尚】
・施設実習の記録物を書くことに悩んでいたのが大山塾に参加しました。初回は苦手な文の講義なのでついていけないか不安でしたが、とても分かりやすく学べたので参加してすごく良かったです! 【介護福祉学科1年 深井 修一】



平成30年1～3月行事予定

- 学園行事
3/8(木) 卒業式・卒業記念祝賀会
- 学校行事
3/15(木) 進級生終業式
- 社会福祉学科・介護福祉学科共通
1/28(日) 介護福祉士国家試験
- 介護福祉学科
1/10(水) 介護福祉士学内模擬試験(2年・1年課程)
1/19(金) 高齢者施設でのレクリエーション運営(1年)
1/26(金) 卒業生講話(1年)
2/7(水) 高齢者施設見学(1年課程)
- 社会福祉学科
1/4(木) 精神保健福祉士学内模擬試験(4年)
1/5(金) 社会福祉士学内模擬試験(4年)
1/22(月)～2/8(木) 精神保健福祉援助実習(3年)
2/3(土)～2/4(日) 社会・精神保健福祉士国家試験(4年)
3/12(月) 介護福祉士学内模擬試験(2年)
精神保健福祉士学内模擬試験(3年)
3/14(水) 社会福祉士学内模擬試験(1～3年)
- 精神保健福祉学科
1/4(木)～1/5(金) 精神保健福祉士学内模擬試験
2/3(土)～2/4(日) 精神保健福祉士国家試験
- 保育未来学科
1/29(月)～2/10(土) 保育実習Ⅰ(1年)
3/7(水) 2年生を送る会(1・2年)



作: 社会福祉学科1年 辻 那々香さん

《ヒント》

担当科目
…相談援助の基盤と専門職・国試対策など
先生の第一印象
…物腰が柔らかく優しい先生!



作: 保育未来学科2年 佐々木 泉実さん

《ヒント》

担当科目
…リトミック・子どもと音楽など
先生の第一印象
…優しくお母さんみたい!

正解はホームページをご覧ください
QRコード

発行元
専門学校北海道福祉大学校 学校新聞委員会
所在地: 札幌市中央区南3条西1丁目15番地
Yoshida 電話: 011-272-6085
ホームページ: <http://www.yoshida-fukushi.jp>

【編集後記】 新春 皆様にとって幸多き一年でありますように、心よりお祈り申し上げます。
お正月、成人式と、あっという間に冬休みは終わり、寒さが厳しい季節となりました。いよいよ国家試験、進級試験に向けてのラストスパートです。早朝や放課後の時間に、たくさんのテキストを前に試験勉強に取り組む姿が見られ、学生たちの試験に向けた意気込みが感じられます。後期も残りわずか…それぞれが悔いのない充実した学校生活を送れるよう、教員も全力でサポートして参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 学校新聞委員会